

博物館をより安心・安全に楽しんでいただくためのお願い

- \*新型コロナウイルス感染症の状況により予定が変更になる可能性もあります。予めご了承ください。
- \*ご参加の際はマスクの着用にご協力ください。当日体調に不安がある場合は参加をご遠慮ください。

企画展「震災遺産を考える一次の10年へつなぐために」関連イベント

- ⊗ 上映会 映画「Life 生きてゆく」 定員100名(先着順)  
2/11(木・祝)13:30~15:40 講堂  
※津波と原発事故がもたらした福島を「知られざる悲しみ」を伝えます。
- ⊗ ミュージアムイベント アニメーション「無念」 定員100名(先着順)  
2/28(日)13:30~14:30 講堂  
※原発事故により救助活動を中断せざるをえなかった浪江町消防団。その時の様子・心情をアニメーションで伝えます。
- ⊗ フォーラム「震災遺産を考える 次の10年へつなぐために」  
定員100名(先着順)  
3/6(土)13:30~16:00 講堂  
佐藤公さん(磐梯山噴火記念館館長)・二上文彦さん(南相馬市博物館学芸員)  
瀬戸真之さん(東日本大震災・原子力災害伝承館学芸員)・筑波匠介(当館学芸員)  
※震災遺産をテーマに「過去から続く歴史」と「これから紡いでいく未来」について考えます。
- ⊗ 防災講座「楽しいそなえ」 定員100名(先着順)  
3/21(日)13:30~14:30 講堂  
渡邊浩二さん(地域活動サポートセンター-柏崎 防災士)  
※東日本大震災で新潟県へ避難しているご経験を伺い、あわせて誰でもできる“そなえ”を楽しく教えていただきます。
- ⊗ 見どころ解説会 定員100名(先着順) 講堂  
① 2/13(土)13:30~14:00 大里正樹(当館学芸員)  
② 3/11(木)13:30~14:00 高橋満(当館学芸員)  
※担当学芸員がそれぞれの視点で企画展の見どころをお伝えます。

ミュージアムイベント

- ⊗ 会津の彼岸獅子—伝統芸能を次世代に伝える **要申込** (定員100名)  
3/7(日)13:30~14:30 講堂 本滝沢獅子舞保存会の皆さん  
※一足お先に会津の春をプレゼント!

民俗ミニ映画会 (全4回)

- ⊗ 記録映像で見るふくしまの暮らし 定員100名(先着順)  
③ 2/21(日)10:30~ 冬木沢参りの習俗 記録編(57分) 講堂 当館学芸員  
※「会津の高野山」と言われている八葉寺。日本でも珍しいいわしとは…。
- ④ 3/21(日)10:30~ 只見川流域のひな流し(21分) 講堂 当館学芸員  
※川を流れるおひな様!? 今ではあまり見られなくなりました「ひな流し」をご紹介します。

実演

- ⊗ 昔語り **要申込** (各回定員15名)  
3/27(土)①13:30~ ②14:30~ 体験学習室 会津民話会の皆さん  
※いろいろを囲んでふるさとのお話を聴こう!

ポイント展ミニ解説会

- ⊗ ポイント展「チャレンジ! 今月の古文書・如月編」ミニ解説会  
定員100名(先着順) 2/26(金)13:30~14:00 講堂 栗原祐斗(当館学芸員)
- ⊗ ポイント展「チャレンジ! 今月の古文書・弥生編」ミニ解説会  
定員100名(先着順) 3/26(金)13:30~14:00 講堂 高橋充(当館学芸員)  
※“くずし字”読みに挑戦していただくポイント展の答え合わせをします!

より深く知りたい! 聴きたい! 講座いろいろ

- 歴史講座 テーマ展を味わう講座「山川浩と健次郎」 定員100名(先着順)  
2/6(土)13:30~15:00 講堂 佐藤洋一(当館学芸員)  
※テーマ展「山川浩と健次郎」の見どころを中心にお話します。
- 館長講座 赤坂前館長最終講座 収録映像上映会  
「福島県立博物館 これまでの10年・これからの10年」  
定員100名(先着順)  
2/20(土)13:30~15:30 講堂  
※2020年3月19日、赤坂憲雄前館長が、退任直前に3人の当館OBと行った座談会形式の最終講座(新型コロナウイルスの影響で無観客収録)の映像をご覧ください。東日本大震災後、当館が何を活動の根拠としてきたのか、今後どう活動すべきかを話し合いました。
- 保存科学講座 博物館の舞台裏 講演バージョン **要申込** (定員100名)  
2/27(土)13:30~14:30 講堂 杉崎佐保恵(当館学芸員)  
※博物館が、温湿度や照明などを適正に保つ重要性についてお話しします。  
今年度はバックヤード見学をとりやめ、講演のみで行います。
- 考古学講座 まがたま 勾玉を作ろう **要申込** (定員18名) **有料** (材料費200円)  
3/20(土・祝)13:30~15:00 実習室 田中敬・平澤慎(当館学芸員)  
※古代のお守り「勾玉」を作ってみませんか?
- 特別講座 詩人のいる博物館③ ふくしまを写す **要申込** (定員100名)  
3/28(日)13:30~15:00 講堂 和合亮一さん(詩人)、岩根愛さん(写真家)  
※詩人の和合亮一さんとお送りしている特別講座。3回目は福島県の被災地や人々を撮影している写真家の岩根愛さんをゲストにお迎えし、写真や言葉でふくしまを捉え、表現することについてお話しします。

<イベントについて>

- \* **要申込** の表記がないイベントは申込不要です。
- \* **有料** (材料費や保険料など)の表記がないイベントは無料です。
- \* **要申込** のイベントは、原則として開催日の一ヶ月前から(一ヶ月前が休館日の場合は翌開館日から)電話もしくは受付カウンターで受け付けます。定員に達したら受付を終了します。イベントの日時や内容に変更が出た場合、その都度ホームページなどでお知らせします。

ポイント展

ポイント展は、収蔵品を中心に、特別に公開する資料などを1点から紹介する小規模展です。



「サンゴ化石の世界」  
鮮新世の群体サンゴ(アザミサンゴ類)の一種

- ・道具とくらしのうつりかわり—食事を彩る道具たち ~2/23  
\*日々の暮らしを大切にすることがそこにはありました
- ・古代あいつの仏教文化—湯川村堂後遺跡— ~2/21  
\*「寺」と書かれた土器からわかることは?
- ・サンゴ化石の世界 ~3/5  
\*澄みきった南の海のサンゴ礁…。  
化石を調べると、サンゴには5億年以上の歴史があることがわかります。
- ・チャレンジ! 今月の古文書 如月編 2/2~2/28  
\*二月にちなんだ“くずし字”解読にチャレンジ! 回答は2/26の解説会にて。
- ・雑まつりと人形 2/26~4/14  
\*もうすぐ雑まつり。雛人形を飾る方も飾らない方も、けんぱくの人形たちで雑まつり気分をお楽しみください。
- ・チャレンジ! 今月の古文書 弥生編 3/2~4/4  
\*三月にちなんだ“くずし字”解読にチャレンジ! 回答は3/26の解説会にて。

2021年2月・3月イベントカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
2	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
月	21	22	23	24	25	26
	28					

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
3	7	8	9	10	11	12
	14	15	16	17	18	19
月	21	22	23	24	25	26
	28	29	30	31		

休館日 ■ イベント開催日 ■

- 常設展観覧料 一般・大学生280円(20名様以上の団体は220円)
- 企画展観覧料 「震災遺産を考える」一般・大学生500円(20名様以上の団体は400円)
- \* 企画展チケットで常設展もご覧いただけます(企画展開催中有効)。
- \* 高校生以下は常設展・企画展ともに無料です。
- 年間パスポート 1,500円 購入日から一年間、当館主催の企画展や常設展を何度でもご覧いただけます。

■ JR会津若松駅から約3km  
・タクシーで約10分  
・まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分(鶴ヶ城三の丸下車すぐ)  
・まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分(鶴ヶ城三の丸下車すぐ)

♿ 車椅子利用者用駐車場  
博物館西側「鶴ヶ城三の丸」バス停そば:2台  
一般駐車場内博物館入り口側:3台  
※不明の点はお問合せください。

**福島県立博物館**  
Fukushima Museum

開館時間9:30~17:00(最終入館は16:30まで)  
お問い合わせ TEL0242-28-6000 FAX0242-28-5986 〒965-0807 会津若松市城東町1-25  
HP <https://general-museum.fcs.ed.jp> e-mail [general-museum@fcs.ed.jp](mailto:general-museum@fcs.ed.jp)

<編集後記>  
●この3月に東日本大震災から10年の節目をむかえます。1年前は静かにこの10年を振り返る機会になると考えていましたが、この紙面を編集、新型コロナウイルス対策のため、1都3県に再び緊急事態宣言が出されました。先が見通せない状態が続いていますが、心の中の大切なものは失わずに、風を待ち、帆を上げて、ゆっくり進んでいければと思います。(A)

なじよなVol.5 2・3月号 2021年1月27日発行 発行/福島県立博物館

中面「きつずなじよな」の答え:疫病(えきびょう)または病氣(びょうき)





令和2年度冬の企画展

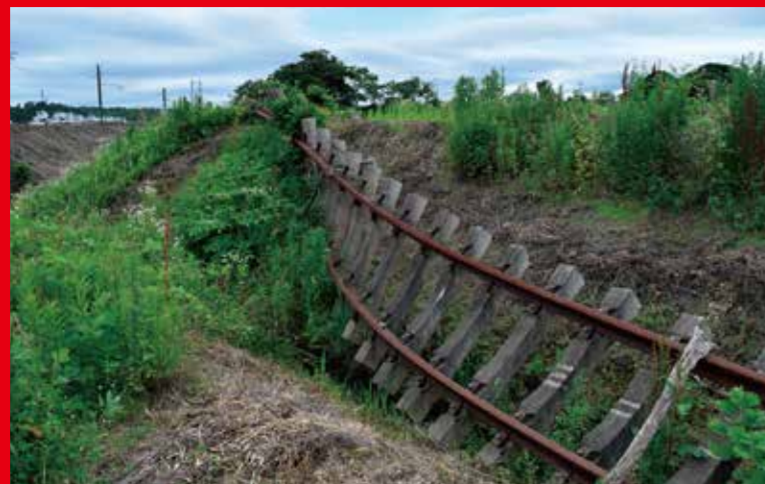
# 震災遺産を考える 次の10年へつなぐために

このからの10年をどう考えていくべきか、みなさんと一緒に考えています。

展示会は三部構成です。

## 第一部 東日本大震災を考える

東日本大震災がもたらした被害の様子、震災遺産とともに振り返ります。過去の特集展で展示した資料もありますが、初めてみなさんにご紹介する資料もあります。あらためてあの日を振り返ります。



津波で流されたJR常磐線の線路(富岡町) 2016年7月27日



保全した津波被災線路

## 第二部 震災遺産から考えたこと

学芸員がどのように震災遺産を読み解いているのかをご紹介します。今までは展示解説会などでお話してきたひとつひとつの震災遺産が持つ意味を、パネルを交えて丁寧に伝えます。



震災遺産 災害対策本部跡(富岡町) 2014年6月11日



保全した災害対策本部跡(過去の特集展展示風景)

## 第三部 震災遺産が伝えること

みなさんとともに、復興とは何かを考える場とします。被災地では復旧作業がすすみ、その先にある復興に向けた取り組みが進んでいます。震災遺産から見た復興とはなにか、掘り下げて考えます。



壁紙に残る津波の痕跡(南相馬市ヨッシーランド) 2012年8月10日



保全した壁紙

2021年1月16日(土)~3月21日(日)

【会場】企画展示室

【観覧料】一般・大学生 500円(20名以上の団体400円)/高校生以下 無料

\*企画展料金で常設展もご覧いただけます(会期中有効)。

【年間パスポート】1,500円

\*ご購入日より一年間、当館の常設展・企画展(当館主催のみ有効)を何回でもご覧いただけます。

### 記録誌の紹介

震災後、学芸員が現場で何を考えながら震災遺産を収集し、博物館のバックヤードでどのように向き合ってきたのかを紹介するため、今回の企画展にあわせて記録誌を作りました。今回の企画展では展示していない資料も含めて震災遺産を包括的に紹介し、今までの活動を振り返る内容になっています。学芸員によるコラムや過去の特集展で好評だった東日本大震災関連年表も掲載していますので、ぜひ手におとり下さい。



### 記録誌の主な構成

- 序章 震災遺産と保全プロジェクト
- 第1章 東日本大震災と原子力発電所事故
- 第1節 東日本大震災による被害と避難
- 第2節 原子力発電所事故と緊急事態宣言
- 第3節 避難指示と区域の変遷
- 第4節 震災10年後のふくしま

### 第2章 震災遺産を考える

- 第1節 災害と被害を伝えるものたち
- 第2節 資料が語る避難の多様性
- 第3節 止められた時間(とき)と失われた未来
- 第4節 記憶の継承と暮らしの再生

- 第3章 福島県立博物館と震災遺産保全活動
- 第1節 ふくしま震災遺産保全プロジェクト(2014年度~2016年度)
- 第2節 当館単独の震災遺産保全活動(2017年度~)

東日本大震災関連年表

800円  
当館受付カウンター  
か通信販売でお求め  
いただけます。

## テーマ展 山川浩と健次郎

1月16日(土)~2月28日(日)

会場 常設展部門展示室「歴史・美術」

山川健次郎没後90年の節目に、山川浩・健次郎兄弟にスポットをあてたテーマ展です。会津藩士山川家に生まれ、戊辰戦争を生き延びた2人は、明治時代にそれぞれ軍人・学者として才能を発揮し、頭角を現しました。戊辰戦争敗戦の逆境を打ち破り、新時代に活躍した山川兄弟とは、どのような人物だったのでしょうか。本展では山川兄弟の業績を振り返り、その人物像に迫ります。山川家から新たにご寄託頂いた資料や近年整理・研究が進んだ館蔵資料をあわせて展示し、2003年に開催した同名のテーマ展からパワーアップしてお届けします。ぜひご覧ください！(テーマ展担当:佐藤・栗原)

### 展示構成

ポイント① 山川浩~軍人として生きた兄~  
肖像写真や山川家の系図など当館初公開の資料に注目!

ポイント② 山川健次郎~学問に生きた弟~  
厳格な学者としてのイメージが強い健次郎。家族や知人に宛てた手紙・葉書から垣間見える人柄にスポットを当てます。



山川浩写真



山川浩の勲章(勲三等旭日中綬章)



山川健次郎写真



山川健次郎の独英辞典

## なじよなニュース! これを聴けば事情通!? FM喜多方「けんぱく徒然語り」



写真:ラジオ収録風景

当館の旬な話題をお届けするFM喜多方「けんぱく徒然語り」のコーナー。毎週日曜日の9:00~9:30は、当館の小林めぐみ学芸員が進行役をつとめ、その時々展示やイベントの担当学芸員を相手に、博物館の舞台裏を語り尽くします。学芸員の熱い想いや最新の情報が聴けるチャンスです!特別ゲストをお呼びすることもあります。ぜひ一度、聴いてみてください。

KITAKATA CITY FM 78.2MHz

\*FM喜多方ホームページ (<http://fm-kitakata.co.jp>)の「サイマルラジオ」ボタンをクリックすると、どの地域でもお聞きいただけます!

## テーマ展 会津の修験

- 西会津町旧福寿院の宗教世界 -

3月6日(土)~4月18日(日)

会場 常設展部門展示室「歴史・美術」

本展では、小網木村(現・西会津町)の本山派修験であった高橋家(号・福寿院)の資料から、近世・近代における同家の宗教活動の歴史をご紹介します。修験道は山岳修行により獲得した力で加持祈祷などを行う日本独自の宗教で、中世以降組織や霊場がつくれ、各地で修験者が活躍しました。高橋家は応永2年(1395)に本山派修験総本山の京都聖護院から福寿院の名を下賜された由緒をもち、代々修験者として活動しました。明治国家が修験道を廃止した後も、昭和初期まで地域の宗教活動の一端を担い、伝えられた仏像や法具は1987年に県の重要有形民俗文化財に指定されました。しかしこうした貴重な文化財も、過疎高齢化で継承が困難となりました。豪雪地帯でもあるこの地域で、古くから仏像を祀った祭壇や蔵造りの建物の維持管理も心配な状態となったため、当館では町や同家の方々と相談を重ねて2017年に全ての文化財を救出しました。こうした経緯を経て、今回が当館初公開となる高橋家の修験資料。会津の修験道の具体像に触れるこの機会をお見逃しなく。(テーマ展担当:内山)



## きつねなじよな

ししまい しし  
~獅子舞のナゾ 獅子先生登場 の巻~

1 **マ** こわそうな獅子が3人で何かしているよ! いったい何をしているんだろう?

**ス** 獅子が踊っているね。今回は獅子舞を説明してくれる特別ゲストを呼んでいるよ。一緒に呼んでみよう!

**マ** うん! 呼んでみよう!

2 **マ** こんにちは! どうも獅子先生です。私たちは会津地方で春の彼岸に舞を舞うことから「彼岸獅子」と呼ばれているよ。また、三匹の獅子で舞うから「三匹獅子」とも呼ばれているんだ。

**ス** せーの、「ししせんせーい!!」

3 **ス** 博物館の常設展示室に獅子頭が展示されているよね。獅子舞は1種類だけではないんだね。

**マ** そうなんだ。獅子舞といっても地域によっていろいろな形があるんだよ。ちなみに私も博物館に展示されているよ。

4 **マ** 獅子先生も! どうして彼岸獅子は春の彼岸に舞うの?

**ス** さまざまな理由があるよ。一つはご先祖様の供養のためだよ。あと「お米や野菜などの作物がたくさんとれますように」という豊作の願いも込められているんだ。そして... さて、ここでクイズです!

【獅子先生からの挑戦!!】  
彼岸獅子が舞うもう一つのワケとはななんだ?  
○に漢字2文字を当てはめよう!

**マ** 獅子先生! ヒントをください!

**ス** ヒントは...みんながかかると困るものだよ。新型コロナウイルスやインフルエンザ...

※こたえは「なじよな」のどこかにあるよ!